



食を通して生物多様性を考える

シンポジウム 食と生物多様性

平成22年10月に名古屋で「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が開催されます。

生物多様性の危機が心配されるなか、「生物多様性」の認知度は35%という報告がされるなど、一般の人々にはその重要性が十分に伝わっていません。本シンポジウムでは、生態系からの恵み（生態系サービス）の一つである「食」を通して生物多様性について考えます。

日時：平成22年7月19日（海の日） 13:30～16:00

場所：徳島大学工業会館2F メモリアルホール
（徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部内）

※入場無料・申込不要



プログラム

13:30～ 趣旨説明 鎌田磨人：徳島大学環境防災研究センター・徳島保全生物学研究会

【第1部：話題提供】

13:45～14:10 「環境と食」 河口洋一：徳島大学大学院バイオテクノサイエンス研究部・徳島保全生物学研究会
（環境と食の関わりについての分かりやすい解説）

14:10～14:35 「農林水産業と食」 土井伸一郎：徳島県東部農林水産局・徳島保全生物学研究会
（大阪での農産品販促を担当して感じたこと）

14:35～15:00 「植物と食」 中村俊之：（有）ウェットランド研究所・徳島保全生物学研究会
（米澤藩刊行の救荒書「かてももの」による食という視点からの野草解説）

15:00～15:25 「生物多様性と食」 岸村憲作：（株）フジタ建設コンサルタント・徳島保全生物学研究会
（約200年前に書かれた「阿波志」から見た徳島の食文化）

休憩

【第2部：意見交換】

15:35～16:00 「生物多様性の普及・啓発について」

主催：NPO 法人徳島保全生物学研究会・共催：徳島大学環境防災研究センター